

2013年1月1日版

ようこそ Janet3 へ

[本メーリングリストの概要]

この「janet3 ml」は、日本国内のガンカモ類渡来地の保護・保全に関わる各地のキーパーソンをメーリングリスト（ML）でつなぎ、ガンカモ類やその渡来地に関する最新の情報を流通させて各地での活動に役立っていた janet・janet2 を拡大発展したものです。ここでは、ガンカモ類やその渡来地の保護・保全に関する問題点を議論し、その解決に向けた各地の関係者の協力の基盤となる情報ネットワーク化を目指します。また、この取組は、「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ ガンカモ類ネットワーク」の国内コーディネーター神谷要((財)中海水鳥国際交流基金財団)anet@sanmedia.or.jp が管理しています。

このMLでは参加者が建設的な議論や情報を共有するために、顔の見える関係を目指します。本人の参加申込みに基づいてML管理責任者が参加者を登録します（非公開型のML）。また、参加にあたって、ML上で自己紹介をお願いしています。

○投稿内容のテーマ分け

流通させる情報の内容を、下のようなテーマに分けます。読者の簡便を計るために、投稿メールの題名（件名／subject）のはじめに決まった書式でテーマ記号を記し、そのあとに内容ごとのタイトルをつけるようにします。書式は [xx]タイトル という形です。

例：マガンの伊豆沼での初認情報を発信するときの投稿メールの題名

[C]伊豆沼でのマガンの初認

特にテーマがわからなかった場合などは、気軽に [0]（なんでも）で発信してください。

それぞれのテーマについて必要に応じて情報流通の整理をする係りを置くようにしますが、これについては議論の進展に伴ってML上で相談します。現時点で決まっている整理担当者は下のテーマ一覧の()内に示してあります。

janet ml テーマ一覧 ver.3.1 2012年10月1日

＝記号＝テーマ＝内容＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

- o[0] なんでも <適当なテーマがわからない場合など>
- o[A] 保護保全 ガンカモ類の保護と生息環境の保全について
 - [A1] 保護枠組 ラムサール条約など国際的な保護の枠組について
 - [A2] 渡来地 日本の渡来地各地における保護保全
 - [A3] 農業 ガンカモ類の保護と農業の連携
 - [A4] 稀少保護 稀少ガンカモ類の保護・回復計画
- o[B] 調査研究 ガンカモ類に関する調査研究について
 - [B1] 調査法 ガンカモ類に関する調査研究方法
- o[C] 渡来情報 ガンカモ類の渡来・標識鳥などの情報
 - [C1] JGmark JGmark 入力データの検証のための配信
- o[D] 教育 ガンカモ類の保護等にかかる普及・啓発・教育活動
- o[E] 行事 行事関係
- o[F・JOGA] ガンカモ類重要生息地ネットワーク支援・
鳥類学研究者グループ（JOGA）関係
- o[Z] 管理者 ML管理責任者よりのお知らせ

=====

[注]o印を付したのは大項目：アルファベット1文字

他は大項目の下の小項目：アルファベット+数字各1文字

i. 個別の投稿に対する返信は、ML上で議論する方法が良いか、あるいは投稿者に直接返信するほうが良いのか、通信ソフトの送信ボタンを押す前にいま一度よく考えてから送信してください。

※一般的なネットワーク上のエチケット（ネチケット）については、次のホームページに種々収録されています：

<http://www.cgh.ed.jp/netiquette/>

ここに収録されている中の次のものはぜひご一読ください：

- a. ネチケット・ガイドライン（サリー・ハンブリッジ著）日本語版
- b. ザ・ネット：利用者の指針とネチケット（アーリーン・リナルディ著）日本語版

※新聞報道等の著作物を投稿メッセージに引用あるいは紹介する際には、社団法人日本新聞協会の見解もご参照のうえ、適切なメッセージづくりにご留意ください：

社団法人 日本新聞協会のネットワーク上の著作権についての見解

http://www.pressnet.or.jp/statement/copyright/971106_86.html

【注意】

パソコン・ウィルス情報はMLの主旨とは関係ありませんので、それが本当であるかデマであるかを問わず、ML上への配信はご遠慮ください。ウィルスに感染しないように努力することは各自の責任において行なってください。各種のアンチ・ウィルスソフトウェアのHPに常に新しい情報が掲載されていますので、それを参照してください。どうしても緊急性が高くメンバーに知らせたほうがよいと思われる際は、管理責任者へご相談ください。

読者が申請して追加アドレスを登録されている場合で、その追加アドレスへの配信に対してエラーメッセージが管理責任者へ届いた際（例えば携帯電話の電源が切れていたりメモリが満杯のときなど）は、管理責任者はそのアドレスへのメッセージの配信を読者に通告なく一時休止させることがあります。（janet3 が利用している Freeml では、自動的配信が停止されるようになっています。）

読者も、当該のリモート機器をしばらく使わないようなときなど配信が受けられないことが予測される場合は、読者が管理者へメールを送って一時休止を依頼ください。

○投稿メッセージの活用

投稿メッセージは、特に投稿者の記載の無い限り、出典を明記した上で参加者が、MLの主旨に鑑み、ガンカモ類とその生息環境の保全を促進するための教育・普及啓発・保全活動（商業的利用を除く）に活用することを前提とします。

活用方法にはさまざまなものが考えられますが、例示してみますと以下のようなものがあるでしょう：

- a. 渡来地の施設における展示や情報コーナー・情報誌への紹介・転載
- b. 本ML参加者が関係する団体の機関紙への紹介・転載
- c. 行政機関や雁を保護する会へのデータ提供

【重要】投稿者が本ML参加者による転載等を認めない場合は、メッセージ本文の初めに"[禁転載]"と明記してください。この記載が無い投稿は転載等の活用を認めているものとさせていただきます。

出典の体裁：その転載等の活用をした情報の末尾などに次のように記していただくようお願いいたします：

"(○○○○氏 [janet3 : ○○○○] ○年○月○日)"

商業的利用ならびにMLの主旨から外れる利用については、投稿者ご本人ならびに主催者の両者の了解無く利用することをお断りします。

○ガンカモ類の名前について

本MLでは日本語を使用言語としますので、特に英名や学名あるいは漢字名自身を論じようとする時以外は以下の規則に則ってガンカモ類の名前を表記してください。

a. 種名はその名前のみを記します。これに対して亜種には必ず亜種○○[○○は和名]と記述します。学名や英名は省略します。日本に渡来する主なガン類の場合次のようになります。

種名	亜種名
マガン	亜種マガン
ヒシクイ	亜種ヒシクイ
	亜種オオヒシクイ
ハクガン	亜種ハクガン
カリガネ	
サカツラガン	
コクガン	亜種コクガン
カナダガン	
ジュウカラガン	

b. 日本鳥学会では第七版より、従来カナダガンとしていた種を北米大陸に生息する外来種のカナダガン *Branta canadensis* と日本に飛来する在来種シジュウカラガン *Branta hutchinsii* に分かれています。

c. 海外に生息するガンカモ類の場合は、逆に亜種の和名は混乱のもとになりかねませんので和名は使わず、亜種 xxxx[xxxx は学名]と記述します。

(例) コクガンには4つの亜種が記載されていますが、現在では次の3つとする考え方が主流になってきています。それは、亜種コクガン(亜種の学名 *nigricans*)、亜種 *bernicla*、亜種 *hrota* の3つです。亜種コクガンと分類されるものには東アジアに越冬する個体群と北米太平洋岸に越冬する個体群とがあり、この2つの個体群のうちの東アジアに越冬する個体群を亜種 *orientalis* とする研究者もいます。

a. また、亜種識別が困難な個体が見られることも多くあります。そのような場合は、的確に表現し、混乱を引き起こさないようにご注意ください。

○その他の鳥類ならびにその他の生物の名前

生物学の基準に則り、生物の和名はカタカナで記し、必要に応じて学名を付与してください。種が確定できない場合や種群を示している場合は ○○類 と記します。
和名の標準とすべき資料についての情報をお持ちの方は *ML* 上でご提示ください。

標準和名の準拠：

- a. 日本産鳥類目録改訂第七版：日本鳥学会 2012.
- b. 世界の鳥類：山階芳麿 1986. 世界鳥類和名辞典. 大学書林. ○生物学的用語

差別語は用いないようご注意ください。

基準とすべき資料や *ML* 上で見られた差別語についての情報をお持ちの方 *ML* 上でご提示ください。

※既知の関係者で使われている差別用語(ならびにそれに準ずると思われる用語)と *ML* 管理者が認識しているもの。矢印の右側がより適切な用語。

- a. 啓蒙 → 啓発
- b. 採餌 → 採食 (給餌はそのまま良い)
- c. エサ場 → 採食地/採食環境

投稿先アドレスは以下のとおりです。

投稿アドレス: anet3@freeml.com